

# 博物館だより

M U S E U M



博物館HPはこちら

博物館 TEL 63-1122

## 展示資料紹介 「<sup>けつじょう</sup> 玦状耳飾り」

本館で常設展示中の「<sup>けつじょう</sup> 玦状耳飾り」(松尾地区・<sup>ちやうじや</sup> 長者屋敷遺跡出土)を紹介します。

### ◆縄文時代のアクセサリ

この玦状耳飾りは今から約5800年前の縄文時代前期のもので長さ4<sup>センチ</sup>、幅3<sup>センチ</sup>、厚さ0.4<sup>センチ</sup>あり、凝灰岩を加工して作られています。

玦状耳飾りとは石で作られた縄文時代のアクセサリ的一种です。現在のピアスのように耳たぶに穴を開けて、石の切れ込みのところから穴に通したと考えられます。「<sup>けつじょう</sup> 玦状」とはドーナツの輪を少し切ったC字状のような形のことで、古代中国のアクセサリである玉器の「<sup>けつ</sup> 玦」に形状が似ているため玦状と名付けられました。今から約8000年前の縄文時代早期の終わりに作られ始め、縄文時代前期に全国的に流行し、約4800年前の縄文時代中期のはじめま

で作られました。

### ◆特定の人物が身に着けたアクセサリ

前述のように玦状耳飾りは縄文時代前期に流行し全国的に分布していますが、1つの遺跡からの出土数は必ずしも多くありません。長者屋敷遺跡から出土した玦状耳飾りも写真のものも含め3点のみです。そのため、誰もが身に着けていたものではなく、ムラのリーダーのような特定の人物が身に着けていたと考えられます。単に着飾るだけでなく、社会的身分や役割を表す意味も持っていたと推測されます。



玦状耳飾り 市蔵

# 図書館だより

L I B R A R Y



図書館HPはこちら

図書館 TEL 75-1700

松尾コミュニティセンター図書室 TEL 76-3235

荒屋コミュニティセンター図書室 TEL 72-2505

### ◆真夏の夜の朗読会をみんなで楽しみませんか

市内で活動する読書ボランティアや市民有志による朗読会を3年ぶりに開きます。朗読作品は、それぞれ朗読者が自由に選んだ作品です。

ぜひ聴きにきてください。

▶日時 8月26日(金) 午後6時半から8時まで  
※終了時間は変更になる場合があります。

▶場所 西根地区市民センター大ホール

▶申し込み 不要

### ◆新着小説

書名	著者
マイクロスパイ・アンサンブル	伊坂 幸太郎
棘の家	中山 七里
天下を買った女	伊東 潤
宙ごはん	町田 そのこ

### ◆新着ピックアップ

#### 『インコがおうちにやってきた』

監修/海老沢 和荘、出版社/学研プラス

インコと仲良くなりたい人、飼ってみたい人のために、インコを迎える準備から毎日の世話のやり方、健康管理、インコの気持ちまでをマンガと写真でわかりやすく解説します。



#### 『さるじぞう』

大黒 みほ/再話 斎藤 隆夫/絵  
出版社/あすなろ書房

おもちを食べすぎて眠ってしまったおじいさんをお地藏さまと勘違いしたサル。山形県に伝わる民話の絵本です。さるじぞうのお話は各地に残っているので、読み比べも楽しめます。

